

平成31年度 第1回脊椎脊髄病学会、日本側弯症学会、
社会保険等システム検討委員会会議録

日 時：2019年2月27日（水）19：00～20：00

場 所：東京医科大学新教育研究棟 10F 1001 室

出席：大川 淳（担当理事）、遠藤 健司（JSSR 委員長）、青田 洋一（側弯症学会委員長）、平泉 裕、高野 裕一、武者 芳朗、鈴木 秀和、山縣 正庸、新井 嘉容、山田 浩司、井上 玄、吉井 俊貴、藤田 順之、宮城 正行

欠席：八木 満、種市 洋、渡辺 航太、

議事

- 1) 要望項目チェック
- 2) JSSR ポスター発表内容
- 3) 新規技術として椎間板切除術（顕微鏡下）、椎弓形成術（顕微鏡下）を提案
- 4) フロシールについての情報
- 5) 今後の予定、次回開催

会議内容

（宮城、新井、高野、吉井、武者、藤田、遠藤の担当要望を確認した）

新規（5）:

- コンドリアーゼ（遠藤）
- 人工椎間板（吉井）
- 除圧を伴わないPPS（高野）
- 筋肉量計測（武者）
- 放射線防御手袋（平泉）

改正（4）:

- 陰性モデルによる手術支援加算（遠藤）
- 内視鏡下椎弓形成術における複数椎間加算、通則14 適応拡大（高野）
- OPLL、黄色靭帯骨化症における複数椎間加算（吉井）
- 脊椎手術における術中CT加算（新井）

側弯症学会

- 高度変形に対する矯正固定術（八木、藤田）
- EOS（青田）
- 側弯症手術 術中ナビゲーション加算の適応拡大（井上、宮城）

[ここに入力]

上記についての審議事項

PPSについて要望取り下げ（局所骨の骨移植が東京都審査で認められた）
通則14と、椎間加算の検討（高野委員が分けて提出）
筋量DEXA, BIAのファイル（武者委員が、山縣委員と相談して内保連と共同で提出）
要望ファイルの主学会を最初にする
エアドリル、放射線防御は担当平泉先生（術中透視加算は準備不足で取り下げ）
術中CTは、ナビゲーション無しで撮影のみの場合あり(939の追加枠で申請)
OYLについては、今回、技術料加算のメリット少なく削除とした。
ヘルニコアの日本ペインクリニック学会参加（承認）
新規技術について、顕微鏡を含め、次回10月の委員会で委員提案を集う
フロシール査定については、全審会で質問

次回開催 10月23日（水）PM7:00から8:00 1001室

主要議題：委員提案の要望

評議員にアンケートを提出し、12月に回収

次回改定にむけた担当委員について検討

[ここに入力]